

町の百倍利器で 広がるEMの利用

発表者

矢作 実

(千葉光男)

(酪農経営・岩手県金ヶ崎町)

百倍利器を導入(1)

背景

金ヶ崎町の環境への取り組み

廃棄物処理の規則(昭和60~)

資源環境型社会、地球環境へのやさしさ

東北初の行政のISO14001取得

EM活用グループに補助金

金ヶ崎町生ごみ堆肥化活用普及研究会

(千葉会長)

畜産団地の悪臭対策

百倍利器を導入(2)

平成16年度導入

設置場所

オーガニック金ヶ崎
(堆肥工場)



百倍利器を導入(3)

運営は和光地区自治会(50戸)

2次培養液 20リットル:500円

配達が多い(+100円)

利用者は50戸以上

畜産農家 25

畑作農家 25

擁護施設 1

他の地区もOK



百倍利器を導入(4)

擁護施設「西光荘」でも利用

米のとぎ汁
EM発酵液
の活用



経営の規模

【畜産】 乳牛80頭

【草地】 牧草 ha
 デントコーン ha

【労働】 家族 4名

牛舎と母屋



EMの利用



EM活性液の
エサに混入



今後の課題

畜産の生産性の向上
多面的なEMの活用など